

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。における企業等との連携に関する基本方針 企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 上記基本方針に則り、校長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科構成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行い、改善項目を校長に報告する。校長は教育課程編成委員会委員にその旨を伝達する。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
2022年4月1日現在			
名前	所属	任期	種別
坂本 敏	中央動物専門学校 校長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	
佐藤 洋子	中央動物専門学校 教務部長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	
渡来 純如	中央動物専門学校 教員室長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	
上野 弘道	公益社団法人日本動物病院協会(JAHA)専務理事	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	①
長谷川 龍太	株式会社AHB 取締役営業本部長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
對馬 由希子	株式会社ローリード 営業部 トリミング部門 主任	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
笹井 利浩	北千束動物病院 院長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
溝口 健太	ワロビー動物病院グループ 取締役事務長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
高橋 三行	社会福祉法人泉陽会 新町光陽苑 施設長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
榎本 修	株式会社セラブ榎本 代表取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催回数及び開催時期 年2回 6月・1月 (開催日時) 第1回 2022年6月14日(火) 13:30～14:30 第2回 2023年1月17日(火) 14:00～15:20			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 教育課程編成委員会より出された意見は、翌年度の教科構成に反映させる。 ・現在、建設系の会社で動物系の学校を卒業した人材が活躍している。近年は猫ブームにより台湾製のキャットステップの設置要請が増えているが、当社でも製作に取り組み始めた。キャットステップのデザインと建築を融合させ、設計ができる人材を確保するためにも、動物系の学校から建設業に入りやすい環境を整えていきたい。また授業の中で、当社のスタッフからキャットステップの説明をさせていただける機会があれば興味を持つ学生も出てくるのではと思う。 ⇒キャットステップの提案については、さらに学生に伝えていきたい。また、共生関連科の住環境の授業の中で、キャットステップをCADを使い作品として作るというのも非常によい題材であると思う。  令和5年度については、令和5年1月開催の第2回同委員会の結果を鑑みて、教科構成の必要な修正を行うものとする。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 実習・演習等は専門学校教育の根幹をなす重要なものである。よって、常に最新の技術を指導する必要がある。そのために学校と企業等が密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。 連携を行う企業とは、職業教育協定書(教育事業受託契約書)を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。 ①カリキュラムの作成 ②講義及び実習の実施 ③講義・実習教材の作成 ④成績評価及び進級審査等に関する助言 ⑤その他の実習運営上に必要となる事項			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	株式会社ラ・デタント	
販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を学ぶ。	イー・マネージ・コンサルティング協同組合	
経営マネージメント	企業や学校、病院などの組織を上手にマネジメント(経営、運営)するための考え方や方法論を学ぶことで、広く個人や組織、社会を見る目を養う。事例にもとづく、具体的な活用に資することに留意する。	イー・マネージ・コンサルティング協同組合	
動物感染症学	病原体の分類、性状等を理解し、感染や病発生のメカニズムを学習する。動物から人間へ感染する疾病の理解と予防、対策を含めた衛生管理の知識を学ぶ。主に犬猫に感染する寄生虫の形態や生活環境など基礎を理解し、検査方法および虫卵の鑑別についても習得する。	有限会社サエキベテリナリィ・サイエンス	
動物行動実習	犬の行動様式、学習原理を理解したうえで、基本的なしつけトレーニングを実践する。診療時における誤った行動の学習を防ぎ、適切な対応ができるようになる。また飼主が犬との良い関係が構築されるよう、トレーニング法と問題行動の予防方法を説明・指導できるようにする。	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ	
動物行動・動物人間関係学	犬や猫の起源・生態、品種による特徴を知る。行動様式、学習原理を基に、適正飼養と基本的なしつけ、問題行動を理解し飼主への指導が出来るようにする。また動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果について理解する。	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ	
建築・住環境実習	動物の行動学に基づき、人と動物が快適に生活するための知識を習得する。また、福祉と動物と住環境を考え、福祉住環境コーディネーター3級の合格を目指す。	有限会社ファウナ・プラス・デザイン	

<p>3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係</p>
<p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>「教員等の研修に関する規程」により、本校の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業等と連携の上で、高度化、多様化する理論及び新技術等について研修に努めなければならない。校長は、教育職にある者に対し、教員の業務経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し、校長に承認を得た者は企業と連携した研修を認めている。</p>
<p>(2)研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名:動物病院研修(河原動物病院)  期間:令和5年4月より毎週火曜日 対象:担当教員  内容:常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため</p> <p>研修名:動物病院研修(まつもと動物病院)  期間:令和5年4月より毎週金曜日 対象:担当教員  内容:常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教授力向上研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会)  期間:令和4年7月29日・令和4年8月4日 対象:担当教員  内容:教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。</p>
<p>研修名「インストラクショナルデザイン研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会)  期間:令和4年8月2日・5日 対象:担当教員  内容:教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する</p>
<p>(3)研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「教職員研修会」(連携企業等:一般社団法人全国動物専門学校協会)  期間:令和5年8月 対象:全教員  内容:全国動物専門学校協会における検定関連の確認、意見交換</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教授力向上研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会)  期間:令和5年8月 対象:担当教員  内容:教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。</p>
<p>研修名「インストラクショナルデザイン研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会)  期間:令和5年8月 対象:担当教員  内容:教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針			
<p>学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、中央動物専門学校運営指針に則り自己評価を実施する。</p> <p>実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。</p> <p>また、卒業生・企業・業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的・継続的な改善を図る。</p>			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>②学校における職業教育の特色は何か</li> <li>③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか</li> <li>④理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか</li> </ul>		
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>①目的に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>②学則・細則・内規等は整備されているか</li> <li>③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>④教育活動に関する情報公開が適切にされているか</li> <li>⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>		
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが行われているか</li> <li>③授業評価の実施体制はあるか</li> <li>④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>⑤成績評価の基準は明確になっているか</li> <li>⑥教員資質向上のための研修が行われているか</li> </ul>		
(4) 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①就職率の向上が図られているか</li> <li>②資格取得率の向上が図られているか</li> <li>③退学率の低減が図られているか</li> <li>④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>		
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>②学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</li> <li>④学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>⑥保護者と適切に連携しているか</li> </ul>		
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>③防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>		
(7) 学生の募集と受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか</li> <li>④学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>		
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>③財務について会計監査が適性に行われているか</li> <li>④財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>		
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</li> <li>④自己評価結果を公開しているか</li> </ul>		
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>③地域に対する公開講座・教育訓練の委託等を積極的に実施しているか</li> </ul>		
(11) 国際交流(留学生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか</li> <li>②留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか</li> </ul>		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況			
<p>①(2)学校運営の2-3の項目において、地域・近隣等からの苦情(クレーム)の現況についてお伺いしたい。⇒コロナ対策による換気のため、窓を開放し実習を行ったことによる校有犬の鳴き声等の騒音や、学生が校有犬散歩時に発する騒音についてクレームがあったが、その都度迅速に対応し改善を図っている。</p> <p>②(7)学生の募集の受け入れについては、入学希望者は各種説明会に参加し入学を決めていると思うが、なぜミスマッチが起きてしまうのか。⇒学生募集活動においては、入学希望者へ丁寧な説明を行っており、本人、保護者とも納得の上で入学していると思われる。進路変更が主な退学理由ではあるが、専門学校のレベルは上がってきており、誰もが卒業できるわけではなく授業についていけないという理由での退学者もいる。</p> <p>③評価は適切と判断する。卒業生の保護者として、娘は本校を卒業したことを誇りに思っており、卒業生の声や先生方の取り組みがあって、学生数の増加に繋がっていると思われる。</p> <p>④評価は適切と判断する。各企業、店舗等において、本校の卒業生はスタッフからの評判が良く評価も高い。挨拶等の基本的な習慣がしっかり身につけられており、学校でよく指導をされていると思う。</p> <p>⑤店舗では猫関連の問い合わせが増えているため、運営計画の猫実習の充実にはぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>⑥動物病院において、本校の卒業生の仕事に対する意気込みが強く感じられる。そのような人材を採用でき感謝している。</p> <p>⑦これから動物看護師の資格が大きく変わるタイミングでもあり、その技術が今後の動物病院運営に大きく関わってくる部分でもあるため本校への期待は大きい。</p> <p>⑧(3)教育活動の3-6の項目において、充実した環境が整っているwebセミナーの活用を提案する。教員には自らの技術、能力を高め、外の環境を知る意味でも、一つの方法であると思われる。また、参加するだけではなく、報告書等の提出により教員評価の一助としてみてはどうか。</p> <p>⑨(10)10-2社会貢献のボランティア活動については、学生には互なじみがなく、あまり意識されていないと感じられる。時間が無く、情報も無い、触れる機会も無いため、ボランティア活動に対しての情報公開を学生の耳に触れるよう対応を検討していただきたい。</p> <p>⑩評価は適切と判断する。動物看護師国家資格化の対応、動物愛護法改訂の対応、校有動物の対応については、学校全体で適切な対応を取られていると思う。動物看護師国家資格化に伴い、競合校や学科を新設する大学も増えているが、本校の学生の評価は非常に高いため、社会に出た卒業生達の評価も積極的に学生募集に活用するとよい。</p> <p>⑪コロナ罹患後の後遺症に対するカウンセリングはされているか。⇒コロナに関連したカウンセリングの申し込みは今のところ来ておらず、家庭や学校生活における人間関係の悩み相談がほとんどである。</p>			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
2022年4月1日現在			
名前	所属	任期	種別
新井富士雄	東田端自治会 顧問	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	近隣・地域
大野 公嗣	一般社団法人 全日本動物専門学校教育協会 専務理事	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	業界団体
田中 淳	中央動物専門学校 卒業生	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	卒業生
岡崎 弘子	中央動物専門学校 保護者	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード オールペット事業部 取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業
飛高 健太郎	タロウ動物病院 院長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業
鹿野 正顕	株式会社アマルライフ/ソリューションズ 代表取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ)・ 広報紙等の刊行物・ その他( ) ) https://www.chuo-u.ac.jp/guide/pdf/assessment_ofc_2019.pdf 毎年10月上旬			

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係	
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針	
<p>概ねホームページで公開しているが、学校行事等に関しては適宜、ブログにて情報公開を行う。          特に関連する企業等及び外部講師に対しては、年度開始にあたり会議を開催し、その際、校長から学校概要・運営指針等を説明し、実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職・研修先の紹介の依頼、様々な教育活動の情報公開も行う。</p>	
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	
	ガイドラインの項目 <span style="float: right;">学校が設定する項目</span>
(1) 学校の概要、目標及び計画	①教育理念 ②教育方針 ③学校概要(理事長名、校長名、所在地等)
(2) 各学科等の教育	①修業年限・定員 ②学科の特徴、実習内容 ③カリキュラム、時間割 ④資格取得 ⑤卒業後の進路
(3) 教職員	①教員紹介 ②教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①実技・実習を中心とした職業教育への取り組み ②企業等と連携した校外実習(インターンシップ)
(5) 様々な教育活動・教育環境	①教育施設の紹介 ②学校行事のスケジュール ③学校行事の報告 ④その他活動の報告
(6) 学生の生活支援	①学生寮の紹介 ②資格取得支援 ③就職支援
(7) 学生納付金・修学支援	①学費・諸費用 ②奨学金制度 ③学費減免制度
(8) 学校の財務	①計算書類(資金収支・事業活動収支・貸借対照表・収益事業) ②監査報告書(監事・独立監査法人)
(9) 学校評価	①自己評価・公表 ②学校関係者評価・公表
(10) 国際連携の状況	①留学生の受け入れ ②留学生の学習支援
(11) その他	①校有動物の情報 ②学友会・同窓会の情報
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3) 情報提供方法	
ホームページ (URL: <a href="https://www.chuo-a.ac.jp/index.html">https://www.chuo-a.ac.jp/index.html</a> )	